

令和4年度 第9回 若葉区区民対話会 概要

地域課題の解決に向けた意見交換

地域が抱える課題と持続可能なまちづくりに向けて

「地域での支え合い活動から」

いずみ台ローズタウン自治会 この指とまれの会
お寿司作りつばきの会

1 区長挨拶

2 意見交換

(1) 地域の公共交通について

○要望は山ほどあるが、最も困っていることは公共交通環境の問題である。

(区長) 先日、自治会と地域の交通問題について話し合い、「グリーンスローモビリティ」を地域で運行してはいかかかと提案をしたので、地域で話し合っただけだと思います。

買い物難民も通学問題も、交通環境が起因しており、それが解決できればと思う。

○支え合い活動の「よろず相談」の方々が、ローズタウンから大宮台までの連絡道路を作りたいと活動しているが、土地の所有者が複数いることなどから行き詰っているようだ。

(区長) 昨年、連絡道を実際に歩いてみたが、行政としては安全面などから難しい。グリーンスローモビリティの方が実際に他の地域で運行実験などもしているので、現実的かもしれない。

○松戸市などもグリーンスローモビリティを運行していると聞いている。

○病院へ行くのに、バスを2つ乗り継いで通っている。コミュニティバスは、ルートによってはとても大回りになる。料金も高い。

○現在、ローズタウンを経由しているコミュニティバスの運行ルートを、大宮小学校まで延伸するよう運営協議会で協議しているが、遠回りになるということで反対している自治会もあり、うまくいかない。

(区長) 民間のバス会社も自社の経営があるので、あまりそこに期待せず違う方策を考えた方がよい。グリーンスローモビリティも地域の方が運行するので、運転手の確保などハードルはあるが。

○免許を返納したので、支え合い活動の買い物介助で近くのスーパーへ連れて行ってもらい、とても助かっているが、散髪や郵便局などまではかなわない。生活がとても不便になっている。

(2) 地域の担い手不足について

○地域の年齢層が高くなっている。もっと若い人に入ってもらって、子どもが増えてほしい。ローズタウンは地価が比較的安いので、交通問題が解決すれば若い人が来ると思う。現状は、親が毎日学校まで送迎するか、既存のバスルートで通学できる中央区の学校に通うかとなっている。

買い物も、食料品は毎週水曜日の移動販売車などの支援があるが、不十分である。

(区長) これからさらに10年後を考えると、とても不安である。行政や地域の方、又、いろいろな団体の方と連携して、支え合い活動を活発にしていかななくてはいけない。

(3) 地域活動を活発にするには

○80歳近い方たちが活動の中心となっており、この先どうなっていくかが心配である。

(区長) 本日の太巻き寿司づくりは若いお母さんにも人気があると思うので、参加いただいてはどうか。それをまた子どもたちに伝えるというように、こうした伝統を大事にしていかななくてはいけない。

○太巻き寿司づくりに限らず、支え合い活動で今行っている行事は、何でも高齢者から子供までをつなげることができる気がする。

(区長) やはり、子どもを巻き込むとお母さんたちも来る。

○お母さんたちは、今、皆働いているので、土日に子ども会を呼んで、畑でサツマイモほりをしてもらうなどの行事であれば、つながりが良いかもしれない。

(区長) ローズタウン自治会は昔から支え合い活動を活発に行っていることを知っている。本日も、改めて活動写真などを見せていただき、活動が続いていることをうれしく思う。

また、要望があればローズタウンに伺い、会長を交えて話ができればと思う。

ローズタウンは少し孤立してしまっている。静かな環境で良い面もあるが、高齢化が進むと交通手段の問題が出てくる。人生100年時代となった今、健康問題についても今後一緒に考えていければと思う。

○地域では、ラジオ体操や、ウォーキング、防犯活動をやっている。ただ、活動しているのは同じ人である。

(区長) 健康増進という観点で、皆さんにいろいろなものを取り入れてもらいたい。

あとは、子どもたちと親を巻き込んで、どうやって行くか考えてほしい。

その子どもたちに、この町に住んでいて良かったと思ってもらえるように、お祭りやいろいろなことをして愛着をもってもらいたい。いずれ子どもたちも出て行ってしまうと考えると、本当に心配である。

活動にあたり、他の団体の活動例などが紹介できる。いろいろな団体の紹介や、困りごとなどがあったら「ぷらっとWAKABA」を地域振興課でやっているのだから相談いただき、地域活動について我々も一緒に考えていきたい。

以上